

施工前と後



改装後の浴室（左写真）とトイレ（右）。浴室はユニットバスでコンパクトに収まっている



改装前、6畳の和室

改装後、廊下を広く取り、浴室とトイレを設けた。部屋とトイレの間には、収納スペース（写真奥）も設置

以前使っていた浴室



以前使っていたトイレと浴室（左写真）。大きな段差のある勝手口（右写真）から行き来していた

毎日使うトイレと寝室の距離は、高齢者の住み心地や介護のしやすさを大きく左右する。寝室の隣にあった和室を、トイレと浴室に変えた運天さん宅を紹介する。

運天さん宅は、第40年の鉄筋コンクリート造平屋建て。トイレと風呂は外にあった。トイレや風呂の隣は、大きな段差のある勝手口を通り、アジは足がなくてはならない。膝の悪い運天さんにとって、トイレは悩みの種だった。トイレが近くなっていくんだけど、ゆっくりと歩けない。気持ちには焦るしね。特に夜は心配だったと話す。心配した息子が住宅改修を依頼し、依頼を受けたリフォーム業者は、運天さんの寝室の隣にあった6畳の和室をトイレと

手すりを使い、玄関へ下りる運天さん。転倒の危険性を防ぐため、後ろ向きを下りるようにしている



運天さんは「トイレの心配が無くなってほっとしました。孫から、お風呂用のいすをプレゼントしてもらったんです」と笑顔を見せた。
 Ⅱ毎月第1・3金曜日掲載

安心して暮らしたい

運天正夫さん（82）の状況

一戸建てに娘や孫と7人暮らし。膝が悪く、杖や手すりがないと移動が難しい。介護認定は認められなかった。

和室をトイレ・浴室に変更 寝室近くに水回りを設置

ブとし、ドアは開け閉めしやすいよう折れ戸にしている。トイレも浴室も段差を無くしてフラットにし、手すりを設置した。

通常、水回りの位置の変更

浴室に変更した。廊下の幅は1.0mほど広めに取り、将来的には車いすも通れるようにしている。浴室（1・5畳）は、汚れにくく手入れしやすいユニットタイプ。床代は「給排水管のこの配

は、給排水管の設置や壁、床の解体、造作工事などが伴い費用がかさんでしまう。施工した南ラムハウジングの川上

代表は「給排水管のこの配

水回りのほか、高低差の大きい玄関や勝手口に手すりを設置、スムーズに移動できるようにした。

運天さんは「トイレの心配が無くなってほっとしました。孫から、お風呂用のいすをプレゼントしてもらったんです」と笑顔を見せた。

を取るために、床下にある程

運天さん宅は床下が深かった

ので大きな工事は必要無かつた。できるだけ以前の壁や床

を生かして、予算を抑えています」と説明する。

7月1日掲載

電話＝096・936・8808

データ

構造：鉄筋コンクリート造平屋建て
 築年数：40年
 改修箇所：トイレと浴室を増築。玄関、勝手口に手すりを設置。
 工事費：約150万円
 設計・施工：南ラムハウジング
 電話＝096・936・8808